

講座 24	古典芸能と文学				
	【定員】100名 【受講料】2年会員 13,150円 1年会員 14,550円 聴講生 18,730円				
	『音楽・芸能』日本の伝統芸能 【時間】毎回13時30分～15時00分（計10回）				
概要	日本の古典芸能と古典文学が深く関連していることは言うまでもありません。今期は音楽と文学のさまざまな関係を見つめます。				
回	月/日(曜日)	会場	学習内容	講師名(敬称略)	
1	4/7(月)	高津市民館 大会議室	古代歌謡：久米歌、東遊が描く古代歌謡の世界	洗足学園音楽大学 現代邦楽研究所所長 森重 行敏	
2	4/14(月)		古事記・万葉集：いにしえびとの歌と音楽を訪ねて		
3	5/12(月)		源氏物語1：源氏物語を題材とした箏曲の数々		
4	5/26(月)		源氏物語2：中世以降は源氏物語の捉え方に変化が見られます		
5	6/9(月)		平家物語：琵琶が語る盛者必衰の物語		
6	6/23(月)		和歌の世界：今なお親しまれる三十一文字の世界 【演奏:吉原 佐知子】 **1		
7	7/14(月)		中世文芸の様々：今様、閑吟集などの人生観を探る		
8	7/28(月)		江戸の文芸と音楽：三味線音楽のルーツと発展		
9	8/4(月)		新体詩：明治の音楽と新体詩		
10	8/25(月)		中国文学：楊貴妃の悲劇と箏曲 【演奏:中 彩香能】 **2		
連絡事項	**1（6月23日）および**2（8月25日）の回は一般の方も参加できます。かわさき市民アカデミーHPまたは演奏会チラシ(チラシは4月1日より配布予定)よりお申込下さい。当日会場受付にて資料代としてお一人 2,000円頂きます。				